優しいトイレ　いずこ?

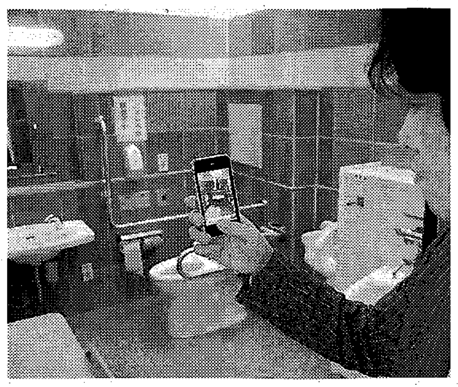
東京のNPO

スマートフォンで登録・検索しよう

お年寄りも、赤ちゃん連れのパパやママも、車いすの利用者も、みんなが使える街の多機能トイレを探してください——。インターネットに全国のトイレ地図を無料公開している東京のＮＰＯが、新たなスタイルのボランティアを呼びかけています。ポイントはスマートフォンの活用。手すりや段差の有無などの情報を写真つきで登録してもらおうという試みで、企業や観光団体とのタイアップも始まりました。（清川卓史）

情報　全国で3.3万カ所

「トイレジャーハンティングin姫路」。兵庫県姫路市で昨年11月、一風変わったイベントが開かれた。車いすマークのある市内のトイレを参加者が探し出す。発見したら、ｉＰｈｏｎｅ（アイフォーン）専用のソフト（アプリ）を使い、設備や写真をウェブサイトに登録する。「姫路観光トイレマップ」づくりの第一歩にしよう、という企画だった。



スマートフォンを使って多機能トイレの設備を登録する＝昨年11月、兵庫県姫路市

参加者の一人で、地元の観光ホテルを経営する原聡さん(42)は「持ち運べる携帯でトイレの情報がわかれば、お年寄りや体が不自由な観光客にとっては助かる」と話す。2日間のイベントに27人が参加。市内32カ所のトイレ情報が新しく登録された。

姫路観光コンベンションビューローとＮＰＯ法人「Ｃｈｅｃｋ（チェック）」（東京都世田谷区）が共催。Ｃｈｅｃｋは旅行会社員だった代表理事の金子健二さん(31)が3年前に設立した。「トイレ地図」を携帯やパソコンから検索できるウェブサイト「チェック・ア・トイレット」（http://www.checkatoilet.com/）を運営する。

各種機関に問い合わせるなどして集めたトイレ情報は現在、全国3万3千カ所。目標は10万カ所だ。そこで発案したのが、スマートフォンを活用したトイレチェックのボランティア募集だった。

トイレ前の段差、手すりの形、介助者用スペース、扉の形、ベビーベッド——。チェック項目は多岐にわたる。体の不自由な人にとって画像があればさらに安心だ。

当初は、紙のチェックシートにメモした内容とデジタルカメラで撮影した写真を、自宅パソコンから登録する手間が必要だった。だが、動作の速いスマートフォンなら、撮影も設備の登録もその場で完了する。「気軽なボランティアとして、誰でもトイレチェックができる」と金子さん。Ｃｈｅｃｋは年内に、ｉＰｈｏｎｅ以外のスマートフォンにも対応する方針だ。

企業や大学とも連携

企業がボランティアの一環として採用する動きも出始めた。昨年7月、ＪＴ（東京都港区）で同社主催のトイレチェック活動があった。車イス利用者1人を含む社員約10人、近隣企業から約20人が参加。金子さんの講義の後、ＪＴビルや霞が関ビルのトイレで実地研修をした。

同社は「車イス利用者の目でバリアフリーを考えることができる活動」（藤牧大介・社会貢献室マネジャー）と評価する。昨年、Ｃｈｅｃｋと一緒にトイレチェックを実施した企業は、ＪＴを含めて7社あった。

大学との連携もある。昨年10月、「目指せ！　トイレ登録王！　関学生対抗トイレチェックラリー」と名づけたイベントが関東学院大（横浜市）で開かれ、学生約80人が参加した。

今月15日には、父親支援のＮＰＯ法人「ファザーリング・ジャパン」（東京都文京区）とＣｈｅｃｋ共催のイベントが東京であった。衛生陶器メーカー、ＴＯＴＯの施設を借りて実施され、普段は家族と過ごす時間が取れない父親がケータイを使って子どもとトイレチェック。4家族10人が参加し、楽しみながら学んだ。

料理メモ

ツナのコロッケ

1人前約325㌔カロリー、塩分0.9㌘

【主な材料・2人前】　ツナの油漬け缶詰1缶（80㌘）、ジャガイモ2個（200㌘）、パセリ（乾）少々、タマネギ4分の1個、卵半個、パン粉少々

【作り方】　ツナ缶を使って手軽に作るコロッケです。味はしっかりつい

—男の— ひといき

■私の趣味はね…

会社の研修などで、たまに初対面の人に自己紹介をする。自分の仕事内容や趣味などだ。しかし、自分の趣味は何だろうといつも考え込んでしまい、困っている。

会社に入って10年。仕事に忙殺され、毎年趣味を減らしてきた。語学学習に小旅行、カラオケ、読書、スポーツクラブ通い、パソコン、ゲームなど、以前は自分でも多趣味だと思っていた。

しかし、我が子も生まれ、余分な時間も気力もなくなって、とうとうすべてできなくなった。

困った。自分は毎日何をして生きているんだろう。平日は仕事、休日は子どもの相手と日用品や食料の買い物で終わり。財布の中はレシートやポイントカードでいっぱいだ。

そういえば最近、ポイントカードをたくさん持つようになった。数えてみると、11種類にもなる。以前は気にもとめなかったが、集め出すと、これが意外に楽しい。今ではポイント倍の日を狙って大量に買い込んだりするくらいだ。

ポイントがたまって特典がもらえた日は、ちょっとぜいたくなおみやげを買って妻を喜ばせるのも、楽しみになっている。これはなかなかいい趣味ではないだろうか。

と思いついたところで、我に返った。やっぱりこの趣味、恥ずかしくて自己紹介ではいえないな。

（横浜市　小川肇　会社員　34歳）

✉m-hitoiki@asahi.com

情報ラック

◆市民のための認知症講座

「認知症デイケアの一日　心の安定を取り戻すための関わり」　28日午後1時半、京都市下京区河原町五条下ル東側のひと・まち交流館京都（京阪清水五条）。認知症ケア専門の看護師として働く在日コリアン3世の元ボクサー康哲虎（カンチョルホ）さんの講話。無料。定員60人。市長寿すこやかセンター＝075・354・8741

生活

✉seikatsunews@asahi.com

落合恵子　積極的その日暮らし

前略・中略・後略

旅先の夕暮れ時。寒い。

出がけに玄関にマフラーを置いてきたのが悔やまれる。

勝手知らないショッピング街には、「ＳＡＬＥ」の文字が躍っている。この文字を見ただけで、反射的に暴れ馬のごとく鼻息を荒くしたのは、いくつぐらいまでだったろう。長い間ご無（ぶ）沙汰（さた）気味の感覚であることは確かだ。が今は必要に迫られ、若者向けらしいこの店に入ったのだ。

きれいな色のマフラーが並んでいる。しかし心弾まない。だいたいが似たようなものをすでに持っている。こうして、ある年代以上の消費も、あがらないに違いない。改造したばかりの内閣も苦労するだろう。

それでもとにかく買って、包装は不要と若い店員さんに伝えたときだった。

「……したぁー」

前髪の一部を金色に染めた別の店員さんが不意に声をあげた。他のお客が買い物を終えて出ていくところだ。

比較的大きな店で、フロアには何人もの店員さんがいる。「……したぁー」の彼の前に、店の他の女性は言ったのだ。

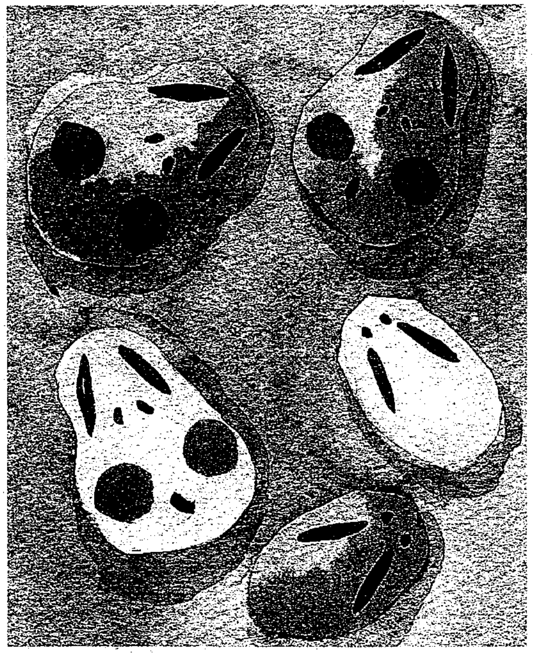
「ありがとうございましたぁー」

その声に、別の青年は「ありがとう」までを省略し、「……ございましたぁ」と続け、また別の青年が、「ありがとうご」まで省略して、「ざいましたぁ」。そして最後が、くだんの彼の「ありがとうございま」まで省略した「したぁー」に続く。

見事な連携ではあるが、青年よ。「ありがとうございま」までは省略できても、前略、中略、後略がきかないものもあるのだよ。心の中で苦笑しつつ、わたしは思うのだ。

たとえば、きみの掌にある、きみの人生ってやつ。省略ばかりしていると、「敬具」には辿（たど）りつけないのでは？　と余計なお世話で考えて、買ったばかりのマフラーを首に巻きつけて店を出る。

貼（は）るだけのカイロも買おう。まだまだ寒い旅の途中。（作家）



イラスト・宿輪貴子

患者を生きる 1487

命のともしび　事前指示書⑤

「終末期」　受け入れに時間